

竜の眼

編集方針

- ①会員の自由かつ達な意見交換の場
- ②オンブズマン活動の発展に貢献
- ③おもしろく、分かりやすく、役に立つ

第14号 2007.10.15発行

仙台市民オンブズマン・タイアップグループ
仙台市青葉区中央4-3-28朝市ビル3F
宮城地域自治研究所内
TEL022(227)9900 FAX022(227)3267
<http://homepage3.nifty.com/s-ombuds/>
e-mail:s-ombuds@nifty.com



菜来山のコスモス畑

撮影：三 塚 芳 德

支援企画10

今年も寄席で笑って、楽しんで

11月8日(水) 午後6時30分～ 戦災復興記念館

出演



柳家小袁治
やなぎや こえんじ
さん



柳家紫文
さん



初音家左吉
はつねや さきち
さん

支援企画も残すところ3週間になりました。

いつも同じ台詞になってしまいますが、あと1人～2人と、声掛けをしていただき、会場をあふれさせましょう。

現在実行委員会で確認された販売枚数は59枚。このままでは会場が空席だらけになってしまいます。総会で確認された販売目標枚数は400枚ですから、そろそろ机の中で眠っているチケットを起こしてください。またチケットが見あたらなくなったり、足りなくなりましたら気軽に事務局へ連絡をおねがいします。

●支援企画って？

支援企画って、「そもそも何なの～」と、質問が寄せられました。ご承知の通り、仙台市民オンブズマンとともに活動し、物心両面から支えているのが「タイアップグループ」。タイアップグループ費の30%を支援金としてオンブズマンに拠出しているが、オンブズマンの活動量を支えるにはまだまだ不十分です。そのため支援企画は、オンブズマンを財政面で強力にサポートするため毎年行われています。経費以外を「特別支援金」として、12月のタイアップ例会でオンブズマン代表に手渡しています。支援企画は、タイアップの会員以外の方にも参加して貰い、自らも笑って、楽しんで、そしてオンブズマンの活動にも寄与できる、まさに一石三鳥の企画なのです。

今年で10回を数え、今回出演する小袁治師匠は、3年連続出演になります。

支援企画10 →
当日ボランティア募集中

当会17:00集合で、会場設営、受付などのお手伝いをおねがいします。
10月30日(火)18:30より最終実行委員会をおこないますので、当日お越しにいただくか、前もって事務局に連絡をください。

【学習会のご案内】

議会ウォッチングのすすめかた

タイアップグループと宮城地域自治研究所、美しい仙台を創る会が共同で、議会ウォッチング準備会を立ち上げています。

議員として住民の付託にこなえた働きをきちんと見ていくかよく観察しようと、だれでも取り組めるようになります。そのための学習会を開催します。

先進的な活動をしている、相模原市議会をよくする会から来ていただいて開催します。

ところ

11月14日(水)
午後6時から
仙台弁護士会館
【入場無料】

裁判傍聴のおねがい

オンブズマンの活動の歴史に残る判決が言いわたされます。ともに歴史的な瞬間に立ち会いましょう。

2、宮城県議会政務調査会

11月13日(火)
午後1時10分
仙台地裁

1、地下鉄東西線 仙台高裁

10月30日(火)
午後2時

【次回例会のご案内】

12月4日(火) 午後6時30分より
宮城地域自治研究所(朝市ビル3階)

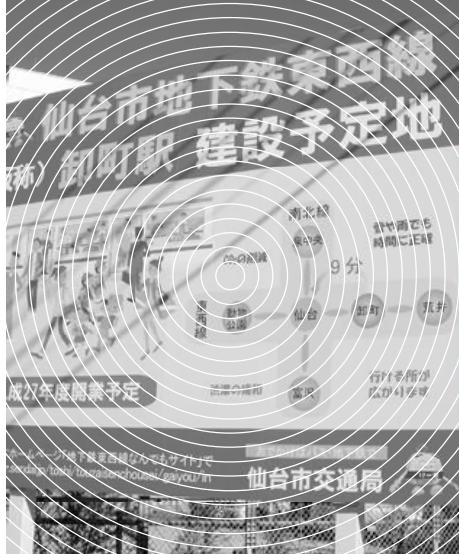
本年最後の例会です。暖やかにおこないたいと思います。ふるって御参加ください。若干のお飲物などご用意しますが、持ち込みは大歓迎です。

仙台地下鉄東西線住民訴訟で、注目の仙台高裁判決が…

公共事業のまやかしの深部に メスを突き刺す判決!

10月30日(火)
午後2時

仙台市民オンブズマン 小野寺 信一



10月30日午後2時に地下鉄東西線の公金支出差止事件の控訴審の判決が言い渡される。7月17日の結審後の集まりで吉岡弁護士が「一審で敗けたのに控訴審でこれだけ盛り上がる裁判も珍しい」と述懐していたように、興奮の続いた控訴審であった。

その原因はもちろん仙台市が隠し続けていたバーソントリップ調査(以下「PT調査」)のデータが開示されたことによる。PT調査とは10年に1回、国(国土交通省)、宮城県、仙台市、周辺市町村などが中心となって過去10年間の交通動向に基づき将来の交通計画のマスター・プランを策定する人がかりな調査のことである。なぜ私達がこれに着目したのか。それは、第4回PT調査においても、平成17年に需要予測を行っていたからである。つまり、本件許可申請の需

要予測の信用性は、第4回PT調査の需要予測によつて検証さ

れると考えたのである。一審判決後に第4回PT調査

の結果が公開されたが、公開された資料のどこを搜しても東西線の需要予測につながるデータを見つけることが出来なかつた。そこで、宮城県から、情報公開請求に基づき第4回PT調査の調査過程を記したすべての関係資料の開示を受け、分析に取りかかつた。

そして私達は遂にその手がかりを見つけた。後に甲第62号証の2として証拠提出した一枚のペーパーである。これは私達に衝撃を与えた。2025年の仙台都市圏の鉄道全体のトリップ数が、現状の31万2000から僅か5万トリップしか増えないことを示していたからである(下

トリップとは人の移動の意味であり、1回の移動で2つの路線に乗ることもあるので、トリップ×1・2が乗客数)。

空港線が開業し、1日7400人が乗ると予想され、2015年には東西線が開業し、開業時11・9万人、10年後の2025年には14・9万人が乗ると予測されているにもかかわらず、9万人(シナリオI)~6万人(シナリオII)しか乗らないことが明らかになつたのである。「予測していない」「保存していない」と逃げ続けた仙台市はデータ公表後一転して「PTの予測は参考にならない」と言い出し、控訴審はPT調査と許可申請の予測のどちらが信用性が高いのかが最終の争点となり、7月17日に審理を終え、10月30日の判決を迎えることになった。果たしてどのような判決が出るか。公共事業のまやかしの深部にメスを突き刺すような判決を期待している。

10月30日(火) 16時から弁護士会館で報告集会

佐高信氏の講演
「情報公開は
民主主義の源泉」
を聞いて考えたこと

佐高信氏の講演
「情報公開は
民主主義の源泉」
を聞いて考えたこと



この欄は皆さんの意見
交換のスペースです。
投稿をお待ちしています。

第14回全国市民オンブズマン大会が、9月15日と16日に山形市ビックウェインで開催された。全国の正義感ある市民が独自に組織する80の団体より、320名の手弁当で集まつた草の根市民により、今年も活発な意見交換が行われた。メインテーマの「政務調査費」に関する報告に続いて行われた、佐高信氏の講演「情報公開は民主主義の源泉」は、権力を批判的に見ていく私にとって、普段の深層心理に隠されてしまつているものを、心の外に解放してくれる、まさに痛快なものであつた。

佐高氏は、山形県酒田市出身でもある為、地元の生々しい話を交え、政治の裏側に迫る広範な講演だったが、冒頭引用された城山三郎悲悼の葉文を聴いて、考えさせられたことを述べた。城山氏は17歳で終戦直前の軍隊に自ら志願したが、彼が後で考えてみると、当時情報が公開されず、権力者にコントロールされた中で、自分はあたかも自らの意思で志願したかの如く誘導されていただけだったことを述べた。城山氏はこの思いがあつた為、晩年の個人情報保護法に対する激烈な反対行動を取ることになつた。これが知恵を受け継ぐ熱意がある。権力者が、自分たちに都合の悪い情報を隠しておきながら、それを個人情報の名の下に隠す道を作つてはならないという、彼の悲痛な経験が、日本の民主主義が機能せず、戦争を指導する権力者の誘導のまま、国民は破滅への道を進まされたと言いたかったのだ。講演は、憲法・日米関係・外

交、内政の多岐にわたつたが、市民オンブズマンにとって最も大きな武器である、「情報公開」の役割について深く考えさせられるものだつた。

それでも二日目の分科会の報告が聴けば、朝七時半、仙台発→山形道上ビッグウェイン着、しかし早目に着いたのに会場は準備中。ならばと会場周辺を散策して、開場を待ち、九時開会の挨拶から始まり、分科会の報告と進行が進み、全国のオンブズマンの地区代表の方々が、パワーポイント等を使用して、解りやすく進行していく中、仙台からは、吉岡弁護士が「ケヤキの伐採問題」で、ケヤキの四季をジムより、一般受けする内容で良かつたと思う。他に気が付いたことは、バンクフードシユからの参加者は、席の左側に、同時に通訳で熱心に聴きつたいました。吉岡弁護士もバンクフードシユの方々に、「ケヤキ」のアピールをして、「是非仙台へ」と宣伝もしました。会場に空席が目立つたのがチケット残念でした。終了後、河村さん・坂野・野呂両弁護士に挨拶をして帰仙。来年は千葉県で開催とのことです。時間が合えばまた参加したい。